

沖端水天宮周辺にて

「交通＋賑わい」検証社会実験を実施します！

－沖端の未来に向けた社会実験－

実施期間

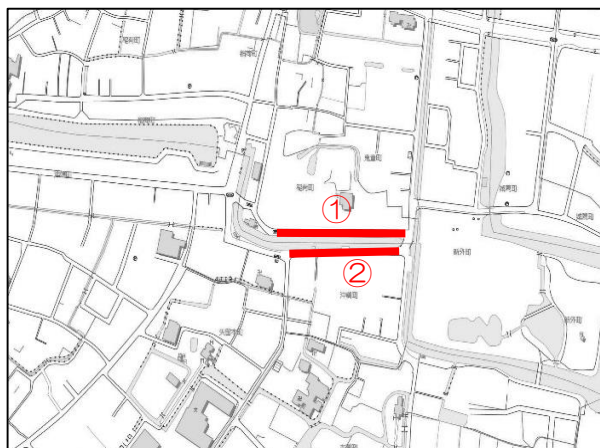
令和4年1月20日(木)

～令和4年2月18日(金)

※実験期間の前後にテープの設置・撤去作業を行います。

実施区間

- ①北側区間（沖ノ端橋～水天宮前）
- ②南側区間（沖ノ端橋～T字路付近）

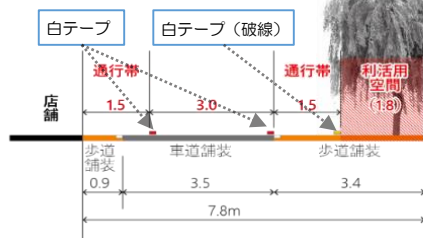


実験内容

- ・車が通れる部分を狭めてみる！
 - ・利活用空間を実験的に活用してみる！
- ※道路上に以下のとおり仮ラインテープを設置します。

<実験期間中の道路幅員イメージ>

○若松屋前付近



<利活用空間の活用イメージ>



社会実験の目的

沖端水天宮周辺においては、令和元年度に策定した「基本計画」の将来像の実現に向け道路等の整備工事を予定しています。今後の整備によって道路空間を再編し、掘割側に地域住民や観光客がゆったりと過ごせる“利活用空間”を作ることとしています。

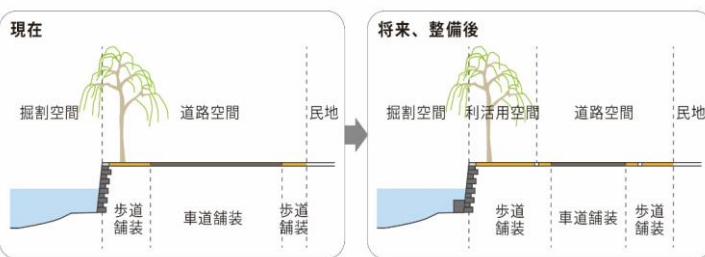
未来の利活用空間を心地よく活用するために、以下の検証を行います。

●交通問題（路上駐車等）

地域の方、観光客の方がきちんとルールを守り、路上駐車が無くなるか検証します。また、車両通行スピード抑制の効果についても検証します。

●利活用空間のルール・運営体制

利活用空間を実際に使ってみたときの課題等を抽出し、心地よく活用するためのルールや、運営体制づくりを検討します。



実験期間中に地域の皆様、水天宮周辺を通行している歩行者の方などにアンケートや聞き取り調査を予定しておりますので、ご協力をお願い致します。

●問い合わせ先

柳川市 都市計画課 都市計画係
担当：梅崎、竹田、松永

電話：0944-77-8552

メール：toshikeikaku@city.yanagawa.lg.jp

実験のルール

※詳細は沖端商店会(周辺店舗の方)と協力して決めていく予定です。

●利活用空間の利用方法に関すること

- ・利活用できる場所は白色の破線テープより掘割側とし、通行の支障にならないように気をつけること。
- ・利用できる時間は7時～20時までの間とする。
- ・道路上に設置するバンコ等は、みんなの共有物として地元住民や観光客など誰もがゆったりと楽しむために使用すること。

●交通ルールに関すること

- ・逆走や路上駐車をしないよう交通ルールを遵守すること。特に路上駐車をみかけたら周辺の駐車場を利用するように案内するなど、気を配ること。

●その他

- ・ごみが散乱しないように、特にテイクアウトを行う店舗は空の容器を引き取ること伝えたり、周辺の清掃をしたりするなど、沖端の美化を心がけること。

ボラードの設置について

交通安全対策や路上駐車対策の観点から、**ボラード(車止め)**を設置するように警察から指導を受けています。

歩行者の安全対策に繋がるメリットもありますが、沖端のまちなみに合わないことや、お祭りの時に邪魔になるなどのデメリットもあります。

ボラードが必要かどうかは、今回の社会実験の結果を通して、警察と引き続き協議を行っていきませんが、地域の皆さんがルールを守り、路上駐車を無くし、安全な歩行空間となることが、沖端の重要な課題となっています。



ボラードのイメージ

基本計画について

詳細については柳川市ホームページに公開しています。



沖端水天宮周辺地区整備基本計画



沖端水天宮周辺の将来イメージ